

細川たけし市議会レポート

令和3年 冬
細川たけし
事務所
〒343-0022
越谷市東大沢
1-12-15-201
TEL.048971389

12月市議会のご報告

越谷市 新型コロナ対策の現状

一般質問でもコロナ対策の質問が多数

12月定例会の一般質問でも多くの議員が越谷市の新型コロナ対策について質問をしました。一部抜粋して概要を掲載します。一般質問とは議員が市政全般に関して、行政(市長、教育長等)に直接現状や将来の方針等を質問

-----質問-----

新型コロナウイルスの越谷市の対策について(令和2年12月現在)

-----答弁-----

①PCR検査の現状
PCR検査の現状は「ドライブスルー方式の「地域外来・検査センター」を延長して行っており1日40人程度の検査が可能。また、保健所では2台の検査器機が稼働しており1日60人程度の検査が可能となっている。

査が可能となっている。

②検査体制
埼玉県と連携



越谷市 保健所

をし、発熱患者が迷わず地域の医療機関で受診できるよう越谷市では67の医療機関が「埼玉県指定診療・検査医療機関」に指定を受けており、そのうち54の医療機関が自院での検査が可能。1日最大約600人の検査が可能になっている。

③検査結果
12月13日現在越谷市で実施した累計検査件数は八千五百四十二件、陽性件数四百六十一件、陽性率は5%となっている。

④療養施設
12月2日埼玉県では受入れ可能病床として、千二百一床を確保しているが、千四百床の確保を予定している。宿泊療養施設は12月2日現在、さいたま市、川口市などの宿泊施設で七百一室確保されている。今後は千二百二十五室が確保される見込みとなっている。

この他多くの議員によりコロナ関係の質問がなされました。

一般質問の時間短縮が決定

突然の決定に困惑

市議会では一般質問の時間について長い時間をかけて丁寧に議論されてきました。我が会派は、議員の質問時間は現行通り2時間を確保することを主張してきました。しかし、議会の傍聴者などの配慮を考慮「1時間に短縮するべき」と主張する会派が議会運営委員会で時間短縮の動議を提出し、賛成多数で可決されました。我々議員は市民の代表者として、市民の声を行政に届け、さらに行政が市民のためにしっかりと仕事をしているかを監視するのが仕事です。今回

の一般質問の時間短縮は、行政に対し質問する時間が大幅に短縮されることになり、大変残念な結果となりました。



12月コロナ関係補正予算

ました。

県が要請した時短営業を実施し、県の交付決定を受けた事業に対し店舗あたり14万円の協力を給付することを市が決めました。また、既にひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付を受け給している世帯に対し、5万円、第2子以降についてはひとりにつき3万円を給

細川たけしプロフィール

付する事を決めました。越谷市議会議員 昭和52年生まれ 43歳 現在3期目



- 経歴
- ・市内小中学校卒業
- ・獨協埼玉高校卒業
- ・東海大学工学部卒業
- ・北陸先端大学院大学卒業
- ・衆議院議員秘書、運送業
- 現在の役職
- ・立憲・市民ネット代表
- ・建設常任委員会委員長
- ・都市計画審議会委員
- ・空家等対策協議会委員

(仮称)地域スポーツセンター整備事業

大沢地区に建設予定の(仮称)地域スポーツセンター整備事業に関する一般質問がありましたので、その概要を掲載します。

ることから、バスケットコート2面程度が取れる地域体育館の規模とするほか、災害発生時には七十二時間連続運転が可能な非常用自家発電機の設置も予定している。今後は施設の位置づけや利用方法、使用料について検討していく。

①整備における基本理念は「周辺地域の地域コミュニティや地域活性化にも寄与する魅力的な体育施設となるよう」「民間活力を活用したスポーツ拠点の整備により地域の賑わいを創出する」を施設整備の基本理念とする。

②公共機能としては、越谷市には総合体育館がある。置も予定している。今後は施設の位置づけや利用方法、使用料について検討していく。

③整備手法と運営方法については、民間の事業者の参入が見込め、また越谷市の財政支出も縮減も期待できることから官民連携事業(PPP事業)とした。事業方法は、建物全体を民間事業者に建ててもらい、公共で使用する体育館部分の賃料を越谷市が支払う形態となる。また、この事業を20年間とする予定なので、約20年間の賃料を越谷市が負担すべきものとなる。

④現在の第1・第2体育館については令和3年8月1日から令和5年10月末まで供用を停止し、令和5年11月からの供用開始を目指していく。また、現在の体育館を定期的に利用されている方々には供用停止中も他の地域体育館を引き続き活動ができるよう紹介をしている。



第一・第二体育館

細川たけしの12月市議会と活動

今定例会で提出された議案

第5次総合振興計画基本構想制定 可決

この計画は越谷市の今後10年間（令和3年度～令和12年度）のまちづくりを計画的、総合的に推進するために制定された計画です。越谷市が行うすべての施策や事業の根拠となる最上位に位置するため、今後の越谷市にとって大変重要な計画になります。特徴は、市民の意向調査やアンケートなどを実施し、より多くの市民の参画によってできた計画であるということ、また国際社会共通の目標である「SDGS（持続可能な開発目標）」の理念をふまえての計画であることなどが挙げられます。

また、この基本構想は、越谷市のまちづくりの「基本理念」、「将来像」、「目標」、「地区からのまちづくり」で構成されており、お住まいの地区の現況と課題についても掲載されていますのでぜひご覧ください。



【第5次
越谷市総合振興計画
基本構想(案)】

【前期基本計画(素案)】

越谷市部設置条例の一部を改正する条例制定

【市の部、課が変更する議案】可決

総合振興計画の着実な推進を図り、少子高齢化や人口減少等の社会構造の変化に対応していくために組織を新たにします。危機管理監、地域共生部や行政デジタル推進課、広報シティプロモーションなど2部、8課が新設されます。

越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定

【職員定数の増の議案】否決

増員理由は主に危機管理、子育て支援・児童虐待への対応、感染症等に対応した専門職の確保、空き家等適性管理事業への対応、大相模保育所定員増に伴う保育士等の配置にともない8年間で83名の増加を予定したもので、市民サービスにとって大変重要な議案でした。

私自身はこの議案の重要性を考え賛成を致しましたが、残念ながら賛成少数で否決されました。増員理由にあるように令和3年度に必ず必要な人員です。今回の否決を受け、今後の市の対応が注目されます。

議員、職員、特別職の報酬及び給与の減額についての議案が可決しました。

大相模保育所児童の定員増について 可決

大相模保育所の建替えに伴い、定員を70人から100人になります。この増員により、保育士等12名の配置が必要となります。

活動の様子

アグリパークゆめすぎと（杉戸町）を視察

アグリパークは完成からすでに約20年が経過していますが、年間120万人が来場しています。



視察の様子

完成当初は、広域農道にパークが面しているため、お客さんが来ないのではないかと心配されていましたが、現在では杉戸町で最も人が集まる場所になって

います。パーク内には地元農作物などを販売する直売所や食堂、多くの子供が遊ぶ広場とバーベキュー広場もあり、町内だけでなく町外からの来場者も多いとのこと。最近では農作物の生産者が高齢化していることが課題となっており、役所も就農者を募っています。

越谷市でも道の駅の計画があります。今回視察したアグリパークには多くのヒントがありました。このような成功事例を参考にし、人が集い楽しむ場所にするためには何が必要かをしっかりと検証していく必要があります。

首都圏外郭放水路視察

この放水路は洪水を防ぐために建設された地底50Mを流れる世界最大級の地下放水路になります。中川、綾瀬川流域は利根川、江戸川、荒川と大きな川に囲まれているため過去に何度も大きな洪水被害を受けてきました。

また近年では都市化が進み、雨水が一気に川に流れるようになり洪水が発生しやすくなりましたが、この放水路が完成した結果、洪水の被害を大幅に軽減することができるようになりました。改めて放水路の規模の大きさや機能を実感しましたが、同時に洪水の脅威も感じました。越谷市としても洪水・治水対策を行っていますが、より身近な対策や啓発活動も十分に行う必要があります。



放水路内の様子

浦和野田線建設促進期成同盟会 千葉県に要望

11月18日、千葉県にて要望書を提出してきました。要望の要旨は、「野田橋の架け替えを含む浦和野田線（主要地方道越谷野田線）の4車線化と建設促進」です。この線は埼玉県・千葉県の発展に伴い交通量が増加をし、慢性的な交通渋滞が発生しており、都市機能や生活機能に様々な影響が生じています。特に野田橋付近では両県の交通が集中するため交通渋滞が特に激しく、早急な解決が必要となっています。

